

学内選考におけるよくある質問(FAQ)

こちらは、学生のみなさまからお問合せ頂く項目の中で「学内選考」に関連した質問のみを掲載しています。

留学全般に関しては、「[海外留学 FAQ](#)」のページもありますので、そちらも参照してください。

<情報収集について>

Q1. 留学プログラムに応募しようと思っておりますが、応募可能なプログラムの情報はどこで入手できますか？

A:「[募集要項](#)」はこちらからご確認いただけます。

また、各プログラムの情報については、留学センターHP の「[海外留学プログラムリスト](#)」で公開しています。各プログラムの「Details」ボタンをクリックすると、プログラム内容や応募条件の詳細が表示されますので必ず確認してください。尚、10月30日まではプログラムおよび内容の更新・追加が行われますので、こまめに確認してください。

Q2. 留学プログラムに参加した学生との連絡や体験談を聞くことはできますか？

A:応募の段階で個人との取次ぎを行うことはできませんが、「[留学経験者紹介制度](#)」をご利用いただき、留学アドバイザーを紹介してもらうことが可能です。詳細は「[海外留学 FAQ](#)」Q2-2をご確認ください。

Q3. EX-R,EX-L,CS-R,CS-L の違いは何ですか？

A: *「プログラムフィー」については、Q4をご参照ください。

	早大学費	留学先学費相当の プログラムフィー*	留学先大学での 主な履修内容	学籍の取り扱い ※詳細は所属学部事務所でご確認ください
EX-R	○	免除	通常科目	留学/在学扱いの留学
EX-L	○	免除	外国語学習	留学/在学扱いの留学
CS-R	免除	○	通常科目	在学
CS-L	免除	○	外国語学習	在学

※詳細は、『[2020-2021 留学の手引き](#)』p.14-15をご確認ください。

<費用について>

Q4. CS プログラムのプログラムフィーとは何ですか？費用はどの程度ですか？

A:CS プログラムに参加する学生が支払う費用となり、主に、「留学先大学のプログラム運営費」、「本学のプログラム開発・運営費」で構成され、プログラムによって異なりますが、年間およそ100~300万とお考えください。EX プログラム同様、住居費・食費、その他諸費用は別途かかります。(一部 CS プログラムでは、食費・住居費等が「プログラムフィー」に含まれている場合があります。)詳細は、[プログラムリスト](#)より、該当プログラムの PDF ファイルをご確認ください。

Q5. 学内奨学金をもらうチャンスはありますか？

A:あります。様々な給付型奨学金を用意していますが、必ずしも応募者全員がもらえるとは限りませんので、出願段階で十分な留学資金・計画をしっかりと保証人様とも確認してください。応募の詳細は、学内選考通過後、対象者にご案内いたします。その他の奨学金(学外および栄光奨学金等)については、[こちら](#)をご確認ください。

<学内選考について>

Q6. 学内選考はどのように行われますか？

A:多くのプログラムの場合、Web 出願、書類提出、面接等のステップで行われます。スケジュールなどの詳細については、[募集要項](#)を必ず熟読し、内容を理解したうえで出願してください。

Q7. 学内選考の基準は何ですか？

A:選考は、GPA／語学能力／学習・研究計画書／筆記試験／面接試験等を総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムに決まります。1つのプログラムに対し複数名の学生が異なる志望順位で出願している場合においても、優先されるのは総合力です。

例えば、「C大学」を希望するAさんとBさん、志望順位はAさんが「第一志望」、Bさんが「第二志望」、選考要素の総合力はAさんよりBさんの方が高く、Bさんが「第一志望」の大学に決定しなかった場合は、「C大学」については「Bさん」が優位となります。

Q8. 早稲田大学留学センター内の選考における、複数プログラムへの出願は可能ですか？

A:可能です。条件を満たしたプログラムを最大第10志望まで選択することができます。できる限り多くの大学について詳しく調べたうえ、自分の学習・研究計画に合致した協定校を選択し、優先順位をつけておくことをお勧めします。また、EXとCSなど、留学形態に関わらず併願することも可能です。1つの大学が、EXとCSなど複数のプログラムを提供している場合も、それぞれ併願することができます。出願校のすべてを名門校や募集人数が少ないプログラムで選択した場合、学内選考を通過できない可能性もありますので、比較的募集人数の多いCSプログラムも含めて出願するなど、状況に応じて出願プログラムを選択するようにしてください。

Q9. 学内選考の倍率はどれくらいですか？

A:留学センターでは、個別のプログラム、およびプログラムの種類における倍率は残念ながら公開しておりません。

Q10. 留学するためにはどのくらいのGPAが必要ですか？

A:各協定校が定めるGPAは[プログラムリスト](#)(Q10-1,Q10-2)で確認することができます。学内選考出願時に要件を満たしていない場合は選考対象外となります。学内選考で使用するGPA計算式の詳細は、[募集要項](#)10,11ページをご確認ください。GPAは学内選考出願時までに出ている成績が対象となります。

Q11. 応募するにはどの程度の語学力が必要ですか？

A:学内選考出願時に語学能力試験の結果の提出が必要になりますが、協定校ごとに基準が違うので[プログラムリスト](#)にてよく確認してください(同一の大学でもプログラムによって異なる基準を設けている場合もあります)。プログラムリスト(Q12-A-1～Q13-2)に記載されている各語学要件は、出願の最低条件となりますので、要件を1点でも満たしていない場合は、学内選考対象外となります。

英語プログラムの場合、原則として、正式なTOEFLiBT®/IELTSスコアが必要ですが、一部のプログラムでは、TOEFL-ITP等その他のスコアでの出願も可能です。

イギリス等一部プログラムでは、特定の学部や履修コースによって、語学要件が異なる可能性がありますので、必ずプログラムリストの情報や留学先大学のWEBページに載っている個々の要件を確認してください。

また、留学先大学の選択肢を広げるためにも、より高いスコア取得を目指してください。

Q12. 語学能力試験はいつまでに受験したら締切に間に合いますか？

A:留学センターでは、学内選考に間に合う具体的な受験日のご案内はしておりません。各試験実施団体のWebサイト等より、申込み方法や結果発表までにかかる日数を確認し、計画的に受験してください。

Q13. 学内選考にはいつ受験した TOEFLiBT®/IELTS のスコアカードを提出すればよいですか？またスコアカードのコピーでも受付ますか？

A: 例年語学スコアおよび英文成績証明書については原本での提出を求めていましたが、今回留学センターへの出願時についてはコピーでも受付可となりました。出願先大学が定める要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード (Test Taker Score Report) や IELTS の Test Report Form の原本またはコピーを提出してください。学内選考時には WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けていますが、なるべく顔写真入りのスコアコピーを提出してください。ただし、名前やスコアが不鮮明な場合は、再提出を依頼する可能性があります。詳細につきましては、[募集要項](#) 18,19 ページをご確認ください。また、学内選考後、留学先大学への出願時やビザ申請の時期以前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要となることもありますので、ご注意ください。

Q14. 志望するプログラムのプログラムリストに TOEFLiBT®と IELTS のスコアが両方記載されていました。どちらのスコアも提出する必要がありますか？

A: 希望するプログラムの語学要件として、TOEFLiBT®、IELTS、その他英語力条件が併記されている場合、いずれかの要件を満たせば出願が可能となります。ただし、複数のプログラムを併願される場合、各プログラムの要件を満たす必要があり、TOEFLiBT®と IELTS、両方のスコア提出が必要となることもあります。

Q15. TOEFLiBT®の MyBestScores で出願することは可能ですか？

A: TOEFLiBT®スコア要件の横に「(B)」と記載があるプログラムは MyBestScores 受付可のプログラムです。MyBestScores 受付可のプログラムと不可のプログラムに併願することは可能ですが、各プログラムの要件を満たす必要があるのご留意ください。

Q16. プログラムリストに記載されている要件を満たしていませんが応募は可能でしょうか。

A: GPA や語学力等、志望するプログラムが求める要件を満たしていない場合は、選考対象外となります。

Q17. 修士・博士課程での応募は可能ですか？

A: 可能です。各プログラムの応募可否につきましては、[プログラムリスト](#) (Q7-2, Q7-3) をご確認ください。修士・博士課程での留学には、主にリサーチ(研究)とコースワーク(科目履修)の 2 つの留学方法があります。特にリサーチを希望する場合、現地大学での指導教員をご自身で探し、学内選考応募時までに内諾を取っていただく必要があります。

Q18. 学習研究計画書の志望理由ですが、志望大学それぞれについて志望理由を書く必要がありますか？

A: 各志望大学の志望理由を、一貫性をもって説明できる場合には、必ずしも大学ごとの志望理由を記載する必要はありません。ただし、複数言語にまたがる大学・プログラムを選択している場合には、それぞれについての志望理由が明確となるように記述してください。

Q19. 応募後、辞退はできますか？

A: プログラム候補者となった後、原則として辞退はできません。正当な理由なく辞退した場合、それ以降の留学センター海外留学プログラム(短期プログラムを除く)への応募資格が失われます。

Q20. 現在休学中ですが、学内選考に応募できますか？

A:できます。ただし、休学という状態で留学センターのプログラムに参加することはできません。

また、休学中でも特別対応はいたしませんので、各種手続きは他応募者同様行っていただく必要があります。なお、候補者となった場合、参加必須のオリエンテーション等もございますので、あらかじめご留意ください。

<留学先大学について>

Q21. 留学先大学では希望する科目が履修できますか？

A:各[プログラムリスト](#)の Q4-1、Q4-2、Q17-1、Q17-2 では交換留学生の履修が制限されている学部や科目、求められる学習歴等が記載されているので、確認してください。また、多くの協定校ではHPを開設しており、そこで情報収集することもできます。

ただし、全てのプログラムにおいて、前提とされる科目(Pre-requisite)を履修していない場合や、履修人数の制限により、留学先大学において希望の学部での履修が認められない、もしくは受講を希望する科目に登録できないことがありますので、柔軟に対応できるよう計画してください。

Q22. 学内選考に合格すれば希望する協定校へ必ず留学できますか？

A:学内選考通過後、留学先大学へ出願する必要があります。各協定校の応募条件を満たしていても、留学先大学が最終的な受入可否の判断をします。

Q23. 留学先での住居はどうなりますか？

A:留学先大学により異なります。[プログラムリスト](#)(Q18)に主な滞在先が記載されているので参照してください。CS プログラムは住居(学生寮またはホームステイ)が留学先大学で定められていることが多いですが、交換留学でも、寮の手配が可能な場合もあります。留学先大学から正式な入学許可が下りたら、寮の手続きは早めに行うことが必要ですが、入寮が保証されていない場合もあります。

<単位・卒業要件について>

Q24. 留学しても4年間で卒業できますか？

A:可能です。1年間留学をして4年で卒業することを希望する場合は、2年次からの留学をお勧めします。長期留学をするためには、1年前に学内出願をする必要がありますので、早めに準備を行いましょう。3年次からの留学ですと、就職活動の兼ね合いもあり、あえて4年で卒業しない方もいます。実績として、2年生から1年間の留学を開始した場合は、約8割の学生が4年間で卒業しています。また、学部によって4年で卒業するための科目の履修要件などは異なりますので、応募前に所属学部・研究科事務所に確認してください。

Q25. 留学先で取得した単位は早稲田大学の単位になりますか？

A:留学先大学での取得単位がどれだけ早稲田大学での単位として認定されるかについては、各学部・研究科の判断に委ねられています。事前に所属学部・研究科の事務所で科目や単位について相談し、帰国後の履修計画も含めて、留学中の学習計画を立てておくことが重要です。標準修業年限(学部は4年)での卒業が保証されてはいませんので、誤解のないようにしてください。

単位認定の審査にあたっては、授業時間数や授業のレベル・内容の観点からその可否が判断されます。例えば、留学先大学で履修した科目が、所属学部・研究科に設置されている科目にほぼ該当すると認められた場合に、取得した単位が認定されることが多いようです。